

講義名:	人間関係論 I	講義時間数: 20時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	ビジネス知識や社会人マナー、問題発見力、発信力など社会人に必要な能力の基礎を身に着けるために、座学だけではなく、グループディスカッションや掃除実践などの活動を通して理解を深める。		
到達目標:	「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの能力を身に着けることができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	4/4(月)AM:5つの約束、共通ルール説明/PM:OBOGを招いての講話、姿勢・挨拶実践 (5時間)		
2回目	4/5(火)AM:明元素唱和实践、傾聴トレーニング/PM:掃除の動機付け、掃除実践 (5時間)		
3回目	4/6(水)AM:PSAについての講義/PM:研修スタッフスピーチ、新入生スピーチ原稿作成 (5時間)		
4回目	4/7(木)AM:「夢」スピーチ実施/PM:入学式リハーサル、学科別研修 (5時間)		
授業教材等:	研修ファイル、バインダー、プリント資料 …等		

講義名:	人間関係論Ⅱ	講義時間数: 16時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	ビジネス知識や社会人マナー、問題発見力、発信力など社会人に必要な能力の基礎を身に着けるために、座学だけではなく、グループディスカッションや掃除実践などの活動を通して理解を深める。		
到達目標:	「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの能力を身に着けることができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	4/18(月) 卒業生講話・感想文作成 (4時間)		
6回目	4/19(火) 教員による講話(予期的社会化について) (4時間)		
7回目	4/20(水) 課外活動 (4時間)		
8回目	4/21(木) 新入生研修の総まとめ (4時間)		
授業教材等:	研修ファイル、バインダー、プリント資料 …等		

講義名:	学科研修 I	講義時間数:	33時間	受講コース名:	エアライン
担当:	中尾	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	その他			実施時期:	2022年度 通年
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	講義スケジュールは実施回によって時間が異なる				
講義概要:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や学科行事、それに付随する準備時間など ・履修状況報告書の作成 ・年度始めなどの節目での「整える」時間、振り返りなどを行う 				
到達目標:	学校行事を通して学科の垣根を越え交流を育むと同時に多様な価値観に触れ、視野を広げることを目的とする。また履修状況報告書を通してお世話になった方々への感謝を形にする。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	自己紹介・建物の使い方・学校生活の過ごし方	17回目			
2回目	Sマネとは、掃除について・掟作成	18回目			
3回目	掟作成・Sマネとやり方	19回目			
4回目	長澤先生による姿勢、礼のレクチャー	20回目			
5回目	Sマネのやり方	21回目			
6回目	TOEICクラス分けテスト実施	22回目			
7回目	単位認定のやり方、シラバス配布	23回目			
8回目	履修状況報告書①	24回目			
9回目	履修状況報告書②	25回目			
10回目	ベースポ	26回目			
11回目	ビーフェス準備	27回目			
12回目	ビーフェス	28回目			
13回目	新年の誓い	29回目			
14回目	2年生卒業発表	30回目			
15回目	卒業式前日準備	31回目			
16回目		32回目			
授業教材等:					

講義名:	ヒューマンスキルプログラム I	講義時間数: 32時間	受講コース名: 全コース
担当:	平岡	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~59点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	学科・コース合同授業 担当教員:安廣、服部、高橋、平岡、中尾、藤田(横田:公務員講座)		
講義概要:	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。		
到達目標:	県内の企業や官庁が抱えている課題を知り、課題解決に向けて企業や官庁と協働しながら課題の解決や地域活性化を目指す。プロジェクト終了後、活動報告を学内で行い、自分以外のチームの取り組みも		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	5/6(金) 授業の目的(地域課題解決:①企業コラボ ②自分たちで考える)の共有、企業プレゼン		
2回目	5/13(金) ①と②のチーム別に分かれての教室運営 行動計画表作成(②チームは顔合わせor訪問)		
3回目	5/20(金) 各チーム単位で行動		
4回目	5/27(金) 各チーム単位で行動		
5回目	6/3(金) 各チーム単位で行動		
6回目	6/10(金) 各チーム単位で行動		
7回目	6/17(金) 各チーム単位で行動		
8回目	6/24(金) 各チーム単位で行動		
9回目	7/1(金) 各チーム単位で行動		
10回目	7/8(金) 各チーム単位で行動		
11回目	7/15(金) 各チーム単位で行動		
12回目	7/22(金) 各チーム単位で行動		
13回目	9/2(金) 活動報告会		
14回目	9/9(金) 活動報告会		
15回目	9/16(金) 活動報告会&まとめ		
16回目	9/30(金) 活動報告会&まとめ *予備日として設定		
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	セルフマネジメント I ①	講義時間数: 90時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾	単位数: 6単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目を実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	エアラインビジネス I ①	講義時間数: 76時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 5単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: グランドスタッフ 勤務年数: 7年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	エアライン業界の基礎知識を身に着ける。アマデウスシステムを使用し、グランドスタッフの実務を学ぶ。 業界研究・企業研究をとおしてどのような人材が求められているか理解を深める。 JALフィロソフィを活用し、社会人として大切な考え方を学ぶ。		
到達目標:	アマデウス検定 Specialist(初級)資格 取得 エアライン業界で活躍できるスキルを身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション、エアライン業界に求められる資質	17回目	アマデウスシステムとは、国際線基礎知識
2回目	業種について	18回目	国際線基礎知識(2,3レターコード)
3回目	飛行機の予約～出発様々な部署	19回目	情報検索(都市・空港・国コード)
4回目	グランドスタッフの業務内容	20回目	空席照会オプションとアクセスレベル
5回目	基本知識(マイレージ・ステータス・アライアンス)	21回目	ダイレクトアクセス空席照会
6回目	基本知識(プライオリティゲスト)	22回目	ロールプレイ①
7回目	業界研究(就職する企業について)	23回目	ロールプレイ②
8回目	業界研究(LCCとFSC)	24回目	ロールプレイ③
9回目	業界研究	25回目	単位認定試験
10回目	業界研究発表	26回目	
11回目	搭乗手続き	27回目	
12回目	航空券予約	28回目	
13回目	航空券発券	29回目	
14回目	手荷物受託	30回目	
15回目	ロビーサービス	31回目	
16回目	セキュリティ・ゲート案内	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、アマデウスユーザーガイド(予約)		

講義名:	エアラインマインド I	講義時間数: 68時間	受講コース名: エアライン
担当:	長澤さおり	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 通年
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: あり 全日本空輸株式会社キャビンアテンダント	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:			
講義概要:	エアライン業界において重要であるホスピタリティマインドを理解し・醸成していきます。並びに、就職活動に向けて、マインドの表現=信頼を得る挨拶・身だしなみ・態度・言葉遣い等を身につける。		
到達目標:	学生が主体的に考え、自己の向上心を持ち、他者と良好な対人関係を築くことができる。並びに、根底に「思いやり」「助け合い」の心を持ち、社会の発展に貢献する価値を作り出すことができる思考またその力を培うことを目指す。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション・ホスピタリティ	17回目	面接対策
2回目	目的目標・関係性の築き方	18回目	面接対策
3回目	CAの仕事とは(要員・国内際共通)	19回目	面接対策
4回目	CAの仕事とは(国内線)	20回目	面接対策
5回目	CAの仕事とは(国際線)	21回目	面接対策
6回目	お客様心理・獲得	22回目	面接対策グループディスカッション
7回目	機内ドリンクサービス(考察)	23回目	面接対策グループディスカッション
8回目	機内ドリンクサービス(実習①)	24回目	ホスピタリティTDL
9回目	機内ドリンクサービス(実習②)	25回目	真実の瞬間①
10回目	接遇にふさわしい言葉づかい①	26回目	真実の瞬間②
11回目	接遇にふさわしい言葉づかい②	27回目	コミュニケーション①
12回目	接遇にふさわしい言葉表現	28回目	コミュニケーション②
13回目	自己を知る	29回目	コミュニケーション③
14回目	ライブラインチャート	30回目	コミュニケーション④
15回目	前期末試験	31回目	コミュニケーション⑤
16回目	前期試験問題振り返り	32回目	後期期末試験
授業教材等:	ホスピタリティ・マナーテキストブック、配布プリント		

講義名:	サービス介助	講義時間数: 18時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・実技		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	サービス業界で求められる、高齢者や障がいをお持ちの方などお手伝いを必要とされるお客様への「おもてなしの心」「安全な介助技術」を学ぶ		
到達目標:	「サービス介助士」資格取得。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	サービス介助士の基本理念、ホスピタリティ・マインド、ノーマライゼーション		
2回目	高齢社会への理解と介助		
3回目	障がい者への理解と介助		
4回目	障がい者の自立支援		
5回目	サービス介助の接遇		
6回目	提出課題、検定対策		
7回目	提出課題、検定対策		
8回目	提出課題、検定対策		
9回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(心のバリアフリー)		
10回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(高齢者への理解)		
11回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(車いす利用者への接遇・介助技術)		
12回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(聴覚障害者への接遇)		
13回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(知的障がい者への理解)		
14回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(視覚障がい者への接遇)		
15回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(実技チェック、検定試験実施)		
16回目			
授業教材等:	サービス介助士テキスト		

講義名:	マナー・プロトコール	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	国際化の著しい現代社会において異文化に対する理解は不可欠なものであるが、その前提として日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、正しく学び、理解する。		
到達目標:	「マナープロトコール3級」資格取得。日本の礼儀作法と西洋のマナー・エチケットの成り立ち、アジアのマナーを説明できる。国際人としてのプロトコールの原則、社交の場でのコミュニケーション方法を説明できる。電話対応のポイント、敬語、ビジネスシーンでのポイントの説明できる。食事のマナーとして、和食・西洋料理・中国料理・各国料理のマナーの特徴を説明できる。冠婚葬祭のしきたりのポイントを説明できる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	団リエンターション/マナーの歴史と意味		
2回目	プロトコールの基本原則・席次		
3回目	プロトコール 国旗の扱い、礼拝の場でのマナー		
4回目	プロトコール パーティの種類とマナー		
5回目	ビジネスマナー 服装のマナー、印章		
6回目	ビジネスマナー 手紙、ビジネス文書、贈答のマナー		
7回目	食事のマナー 西洋料理、各国料理のマナー		
8回目	食事のマナー 日本料理のマナー		
9回目	冠婚葬祭 日本の通過儀礼		
10回目	冠婚葬祭 祭のしきたり		
11回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
12回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
13回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
14回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
15回目	検定試験実施		
16回目			
授業教材等:	NPO法人日本マナー・プロトコール協会 マナー&プロトコールの基礎知識		

講義名:	TOEIC I ①	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	工藤	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	TOEICのスコアのみでなく、出席、提出物、授業への意欲などを得点化して評価する。		
講義概要:	頻出単語の演習と小テストの実施。品詞や文型などの英文法の学習の他、長文読解とグラフ・表の読み取り。リスニングテストの実施。		
到達目標:	TOEICで問われる品詞や文型などの英文法や単語の演習に加えてpart6, part7で必要な長文読解力を強化する。また、リスニングテストを随時実施しTOEICでハイスコアを目指す		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	リスニング リーディング TOEIC試験に関して part5(文型と文の成分)		
2回目	リスニング リーディング part5(文の成分と品詞)		
3回目	リスニング リーディング part5(格)		
4回目	リスニング リーディング part5(主語と動詞)		
5回目	リスニング リーディング part6(英文の読み方)		
6回目	リスニング リーディング part6(英文の読み方)		
7回目	リスニング TOEIC模試		
8回目	リスニング TOEIC模試(解答と解説)		
9回目	リーディング TOEIC模試		
10回目	リーディング TOEIC模試(解答と解説)		
11回目	リスニング リーディング part7(ダブルパッセージ)		
12回目	リスニング リーディング part7(ダブルパッセージ)		
13回目	リスニング リーディング part7(ダブルパッセージ)		
14回目	リスニング part7(トリプルパッセージ)		
15回目	リスニング part7(表・グラフの読み取り)		
16回目	リスニング TOEIC模試(単位認定試験)		
授業教材等:	オリジナルプリント・TOEIC新精選模試・壁越え模試他		

講義名:	TOEIC模試 I -①	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	工藤	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	TOEICのスコアのみでなく、出席、提出物、授業への意欲などを得点化して評価する。		
講義概要:	TOEIC模試の実施と解答・解説		
到達目標:	TOEIC試験形式に慣れ、200分の英語試験を集中力を切らすことなくやり通す。 GS、CA受検に必要なスコア獲得を目指す。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) リスニング集中トレーニング Reading part5		
2回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) リスニング集中トレーニング Reading part5		
3回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) リスニング集中トレーニング Reading part5		
4回目	TOEIC模試 part3(Listening) 会話文の聞き取り Reading part5		
5回目	TOEIC模試 part3 (Listening) 会話文の聞き取り Reading part5		
6回目	TOEIC模試 part1-3 (Listening) Reading part5		
7回目	TOEIC模試 part1-3 (Listening) Reading part5		
8回目	TOEIC模試 単位認定試験		
授業教材等:	至高模試・TOEIC600他		

講義名:	エアライン英会話 I ①	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	Psul Townsend	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	Attendance 50%/ participation 20% / Quizzes 20% / Speaking Test(学期末テスト)10%		
講義概要:	航空業界・ホテル業界などの接客業で必要とされる単語・会話表現の学習。基礎英会話。		
到達目標:	航空業界・ホテル業界などの接客業で必要とされる基礎英会話力を身に着ける。また、英語を利用して外国の方々とコミュニケーションが取れるようにする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	Lesson1 自己紹介 英語で伝えたいことを表現しよう①		
2回目	Lesson2 自己紹介 英語で伝えたいことを表現しよう②		
3回目	Lesson3 Family① There is ~/There are ~		
4回目	Lesson4 Family②		
5回目	Lesson5 Shopping ①		
6回目	Lesson6 Shopping② 数の数え方 Quiz		
7回目	Lesson7 Food① (Positive/ Negative Reaction)		
8回目	Lesson 8 Food② Why/Why not?		
9回目	Lesson 9 Music① Asking for examples / Him/Her/ Them/It		
10回目	Lesson10 Music②		
11回目	Lesson11 Free Time① 情報を伝える 不定詞・動名詞		
12回目	Lesson12 Free Time② 時間を伝える Quiz		
13回目	Review【Unit1-3】 単語test		
14回目	Review【Unit5-6】 単語test		
15回目	Final Lesson Speaking Test		
16回目			
授業教材等:	Nice Talking with You 1 (CAMBRIDGE出版)		

講義名:	企業英会話 I	講義時間数: 15時間	受講コース名: エアライン
担当:	工藤	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:			
備考:	DMM英会話受講回数により単位・成績を決定 計15回の受講で単位認定 (15~20回:C 21~25回:B 26~30回:A 31回~:S)		
講義概要:	DMM英会話の受講		
到達目標:	英語を話すことまた外国人に対しての苦手意識をなくし、自然に英語で会話できるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	リモートで外国人講師と繋ぎ、各自自分に合わせたレッスンを受講。		
授業教材等:			

講義名:	空港実務①	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	両備スカイサービスカンパニー	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: グランドスタッフ 両備スカイカンパニー所属職員	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	両備ホールディングス講師より、最新のエアライン業界について学ぶ。		
到達目標:	空港実習を行う上で最低限必要となるエアライン業界の知識を習得する。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	空港のお仕事紹介		
2回目	時刻表の見方、岡山空港について		
3回目	3レター、2レター、業界用語		
4回目	空港アナウンス		
5回目	チェックイン概要①スキップサービス、乗り継ぎ、MCT		
6回目	手荷物概要		
7回目	チェックイン概要②マイレージカード、航空加盟		
8回目	チェックイン概要③コードシェア、連帯運送		
9回目	チェックイン概要④ INF、PGNTの定義、らくのりサービス		
10回目	チェックイン概要⑤ 配慮を要する旅客		
11回目	配慮を要する旅客のご案内(実技)		
12回目	チェックイン概要復習、模擬チェックイン		
13回目	グランドハンドリング業務		
14回目	イレギュラー概要		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	メイク I	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	羽染咲希	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記・実技)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: 美容師・ネイリスト・アイリスト 15年	
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	ヘア、メイクの基礎知識を学び、自ら施術を行う 社会人としての身だしなみをトータルで学ぶ		
到達目標:	社会人としての身だしなみ(清潔感、遊びではない)を身に付ける 業界人として、見た目からふさわしい姿になる		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	ヘア、メイクの講義、施術		
2回目	ヘア、メイクの講義、施術		
3回目	ヘア、メイクの講義、施術		
4回目	ヘア、メイクの講義、施術		
5回目	ヘア、メイクの講義、施術		
6回目	ヘア、メイクの講義、施術		
7回目	ヘア、メイクの講義、施術		
8回目	立ち居振る舞い、ヘアメイクのテスト		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	鏡、自身のメイク道具、テキスト		

講義名:	セルフマネジメント I ②	講義時間数: 90時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾	単位数: 6単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目を実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	エアラインビジネス I ②	講義時間数: 76時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾	単位数: 5単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: グランドスタッフ 勤務年数: 7年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	アマデウスシステムを使用し、グランドスタッフの実務を学ぶ。 JALフィロソフィを活用し、社会人として大切な考え方を学ぶ。		
到達目標:	アマデウス検定 Specialist(初級)資格 取得。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	空席照会		
2回目	空席照会オプション、ダイレクトアクセス空席照会		
3回目	タイムテーブル、空席照会から予約		
4回目	予約手順、予約記録作成		
5回目	旅程の取消・変更		
6回目	SSRの追加・取消(座席指定、ミール)		
7回目	SSRでの様々なリクエスト(フリークエントフライヤーなど)		
8回目	キャンセル待ち受付、予約ステータス		
9回目	予約記録の分割		
10~20回目	予約記録作成練習		
21~37回目	アマデウス過去問		
38回目	アマデウス検定 受験		
授業教材等:	アマデウスユーザーガイド(予約)、オリジナルプリント		

講義名:	就職対策①	講義時間数: 62時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 他	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身に着ける。 また、自己分析を通し、自分の「根っこ」となるものを明確にし、自ら考え・決定し・行動することができる自立した人間を目指す。		
到達目標:	自分の「根っこ」となるものを理解し、仕事もプライベートも含めた自分の人生について具体的に描き、主体的に行動する「キャリア形成力」を養う。 就職活動に直結する履歴書作成や面接練習などを通して、自己表現力・コミュニケーション能力を鍛える。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	なぜ働くのか、就職活動の軸について考える		
2回目	就職活動の進め方		
3回目	自己分析、自己PR作成		
4回目	自己分析、自己PR作成		
5回目	自己分析、自己PR作成		
6回目	業界研究、志望動機作成		
7回目	業界研究、志望動機作成		
8回目	履歴書作成		
9回目	面接のマナーと対策		
10回目	模擬面接、グループディスカッション対策、エントリーシート作成		
11回目	模擬面接、グループディスカッション対策、エントリーシート作成		
12回目	模擬面接、グループディスカッション対策、エントリーシート作成		
13回目	模擬面接、グループディスカッション対策、エントリーシート作成		
14回目	模擬面接、グループディスカッション対策、エントリーシート作成		
15回目	模擬面接、グループディスカッション対策、エントリーシート作成		
16回目			
授業教材等:	適宜プリント配布		

講義名:	コミュニケーション基礎 I	講義時間数: 34時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	コミュニケーション検定初級程度の学習を行いながらグループワークを実施 その他「雑談力」をテーマに講義とワークを行う。		
到達目標:	接客業において必要な隠れたニーズを引き出す話力を身につける。 コミュニケーション検定初級の知識からお客様対応についての基礎を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	単位認定方法について、オリエンテーション	17回目	
2回目	コミュニケーションの基本を身につけよう	18回目	
3回目	話すときの心構えを理解しよう	19回目	
4回目	効果的な話し方を身につけよう	20回目	
5回目	効果的な表現方法を身につけよう	21回目	
6回目	総合演習	22回目	
7回目	聞くことの重要性	23回目	
8回目	単位認定試験	24回目	
9回目		25回目	
10回目		26回目	
11回目		27回目	
12回目		28回目	
13回目		29回目	
14回目		30回目	
15回目		31回目	
16回目		32回目	
授業教材等:			

講義名:	MOS	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	総時間数の8割以上の出席がない場合は単位認定試験を受けることが出来ない。 随時MOS外部受験		
講義概要:	MicrosoftOfficeSpecialist Excelの勉強を通して、Excelの基本操作を学ぶ。		
到達目標:	MicrosoftOfficeSpecialist Excel2016の取得を目指す。全5回の練習問題、ランダム出題の試験を繰り返し行う。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	単位認定方法について、オリエンテーション		
2回目	演習問題①実施		
3回目	演習問題①実施		
4回目	演習問題①テスト		
5回目	演習問題②実施		
6回目	演習問題②実施		
7回目	演習問題②テスト		
8回目	演習問題③実施		
9回目	演習問題③実施		
10回目	演習問題③実施		
11回目	演習問題③テスト		
12回目	模擬試験実施		
13回目	模擬試験実施		
14回目	模擬試験実施		
15回目	模擬試験実施		
16回目			
授業教材等:			

講義名:	一般教養 I	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能		
講義概要:	就職試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	基礎学力を身に着ける。また、教え合いの時間を設け、ただ時間内に解くだけでなく復習を徹底することにより、各分野の解き方を着実に身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	問題演習①		
2回目	問題演習②		
3回目	問題演習③		
4回目	問題演習④		
5回目	問題演習⑤		
6回目	問題演習⑥		
7回目	問題演習⑦		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	TOEIC I ②	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	工藤	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	TOEICのスコアのみでなく、出席、提出物、授業への意欲などを得点化して評価する。		
講義概要:	頻出単語の演習と小テストの実施。品詞や文型などの英文法の学習の他、長文読解とグラフ・表の読み取り。リスニングテストの実施。		
到達目標:	TOEICで問われる品詞や文型などの英文法や単語の演習に加えてpart6, part7で必要な長文読解力を強化する。また、リスニングテストを随時実施しTOEICでハイスコアを目指す		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	リスニング リーディング リスニング強化(選択肢の見極め)		
2回目	リスニング リーディング リスニング強化(選択肢と疑問詞)		
3回目	リスニング リーディング リスニング強化(短文聞き取りと問題の予測)		
4回目	リスニング リーディング リーディング強化 part5&6(選択肢から問題タイプを見極める)part1		
5回目	リスニング リーディング リーディング強化 part5&6(選択肢から問題タイプを見極める)part2		
6回目	リスニング リーディング part7(ダブルパッセージ)2つの文書を繋げるには		
7回目	リスニング TOEIC模試		
8回目	リスニング TOEIC模試(解答と解説)		
9回目	リーディング TOEIC模試		
10回目	リーディング TOEIC模試(解答と解説)		
11回目	リスニング リーディング part7(ダブルパッセージ)→ TOEIC 時間の使い方		
12回目	リスニング リーディング part7 長文読解のコツ(文型)		
13回目	リスニング リーディング 長文読解		
14回目	リスニング part7(トリプルパッセージ)		
15回目	リスニング part7(表・グラフの読み取り)リスニング強化part1~4		
16回目	リスニング TOEIC模試(単位認定試験)		
授業教材等:	オリジナルプリント・TOEIC新精選模試・壁越え模試他		

講義名:	TOEIC模試 I ②	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	工藤	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	TOEICのスコアのみでなく、出席、提出物、授業への意欲などを得点化して評価する。		
講義概要:	TOEIC模試の実施と解答・解説		
到達目標:	TOEIC試験形式に慣れ、200分の英語試験を集中力を切らすことなくやり通す。 GS、CA受検に必要なスコア獲得を目指す。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) リスニング集中トレーニング Reading part5		
2回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) リスニング集中トレーニング Reading part5		
3回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) リスニング集中トレーニング Reading part5		
4回目	TOEIC模試 part3(Listening) 会話文の聞き取り Reading part5		
5回目	TOEIC模試 part3 (Listening) 会話文の聞き取り Reading part5		
6回目	TOEIC模試 part1-3 (Listening) Reading part5		
7回目	TOEIC模試 part1-3 (Listening) Reading part5		
8回目	TOEIC模試 part4 (Listening) 表・グラフの読み取り Reading part6		
9回目	TOEIC模試 part4 (Listening) 表・グラフの読み取り Reading part6		
10回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) Reading part7		
11回目	TOEIC模試 part1&2 (Listening) Reading part7		
12回目	TOEIC模試 (解答と解説)1問1答		
13回目	TOEIC模試 (解答と解説)1問1答		
14回目	TOEIC模試 (解答と解説)1問1答		
15回目	TOEIC模試 リスニング強化 長文読解		
16回目	TOEIC模試 単位認定試験		
授業教材等:	至高模試・TOEIC600他		

講義名:	エアライン英会話 I ②	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	Paul Townsend	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習	実施時期: 2022年度 後期	
認定方法:	認定試験(筆記・その他)	実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	Attendace 50% / Participation 20%/ Quizes 20% / Speaking Test(学年末テスト) 10%		
講義概要:	航空業会・ホテル業界などの接客業で必要とされる単語・会話表現の学習。基礎英会話。		
到達目標:	接客業で必要とされる単語・会話表現を身に着ける。抵抗なく英語を利用して外国人と話すことが出来る		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	会話の始め方と終わらせ方/会話を広げる英語表現		
2回目	考える時間が必要な時の英語表現		
3回目	好きなもの・嫌いなものの伝え方		
4回目	興味のあることを伝える英語表現		
5回目	Quiz1-3 実技・演習		
6回目	賛成・反対を伝える英語表現 Agreeing / Disagreeing		
7回目	Asking for more information: 質問の仕方		
8回目	What kind of ~? 他、疑問詞を使った英語表現		
9回目	Quiz4-6 実技・演習		
10回目	Free Talk		
11回目	Making Summary or Comments : 感想を伝える英語表現		
12回目	Beginning an explanation : 質問に答える		
13回目	Quiz10-12 実技・演習		
14回目	伝わったかどうかを確かめる英語表現 ・ 理科愛したことを伝える英語表現		
15回目	Final Lesson Speaking Test		
16回目			
授業教材等:	Nice Talking with You 1 (CAMBRIDGE出版)		

講義名:	空港実務②	講義時間数: 36時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・実習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: グランドスタッフ 両備スカイカンパニー所属職員	
追試験実施:	無		
備考:	新型コロナウイルス等でインターンシップ部分を座学に変更する可能性有り		
講義概要:	岡山空港で空港スタッフによる講義を受講。 一部インターンシップを実施し、グランドスタッフの業務の一部を体験する。		
到達目標:	実践的スキルの習得や社会人・業界人として必要な考え方や行動を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	岡山空港(両備スカイサービスカンパニーでの座学・実習)		
授業教材等:			

講義名:	ビジネス能力検定	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 通年
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:			
講義概要:	ビジネス検定ジョブパス3級の勉強を通して、働く意識とグラフの読み解きなどの社会人能力を学ぶ		
到達目標:	ビジネス能力検定ジョブパス3級取得を目指す。また、社会人としての基礎能力を身につけることを目指す。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション、授業の進め方、テキスト配布、働く上で大切な8つの意識		
2回目	キャリア形成・キャリアプランと社会を取り巻く情勢		
3回目	仕事への向き合い方、来客対応と言葉遣い		
4回目	ビジネスマナー・メールの使い方と電話対応		
5回目	新聞・グラフの読み取りとケーススタディ		
6回目	過去問題実施		
7回目	過去問題実施		
8回目	単位認定試験(過去問題)		
授業教材等:	ビジネス能力検定 3級テキスト・問題集		